

## 題) 両建取引禁止のお知らせ

お客様各位

拝啓、時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

2010年8月1日より施行される金融商品取引業等に関する内閣府令の改正(以下、本件改正といいます。)に伴い、お客様のお取引につきまして、2010年7月19日より重要な変更がございます事をお知らせ申し上げます。

また、取引約款及び取引説明書の内容も同日付で変更されますので、併せてお知らせ申し上げます。

変更点につきましては以下のとおりです。

～取引に関わる変更点(2010年7月19日から)～

### ※両建取引の禁止

売り買い両方の約定(両建取引)につきましては、評価損益が変動せず、その時点で決済取引を行った場合と同様の効果を生じ、両建てのポジションを保持し続ける事について経済的合理性を欠くものである事、又、相場の急変時にスプレッド拡大等により、強制決済が発動され不足金が生じやすくなる事、スワップ金利の値差による損失が毎日発生し、損失が拡大していく事などのデメリットが指摘されております。

本件改正により、両建取引につきまして必要とされる証拠金のお客様の負担が増加するため、上記のデメリットも併せて考慮し、ODLでは2010年7月19日から両建取引を禁止させて頂く事となりました。

### 現在、両建のポジションを保有しているお客様へ

下記期日までに両建取引となっている状況を解消して頂くようお願い申し上げます。

解消方法は下記①、②等をご参照の上、お客様が最適と判断される方法にて両建取引となっている状況の解消をお願い申し上げます。

### 【期日】

日本時間：2010年7月17日(土)7:00 / GMT 2010年7月16日(金)22:00

### 【両建解消方法例】

①両建解除…同通貨ペアで売ポジションと買ポジションの双方を同時に相殺する方法。

方法→[http://www.odls.co.jp/popup/mt4\\_manual.html](http://www.odls.co.jp/popup/mt4_manual.html)

②決済…両建取引となっているポジションの一方を指定決済する方法

なお、ODLでは両建取引につきまして取引証拠金を必要としておりませんでした。以上の決済によって残ったポジションにつきまして、新たな取引証拠金が必要となりますので、有効証拠金の残高にご注意下さい。

◆2010年7月17日(土)7:00迄に両建取引となっている状況が解消されていない場合は、2010

年7月19日以降のODLが任意に選択した日時にて、両建取引となっているポジションの双方を強制的に決済取引する方法で、両建状態を解消させていただきますので予めご了承下さい。

◆2010年7月19日以降は保有ポジションの指定決済を行わないと、同一通貨について両建取引となる新規取引による反対売買を行う事が出来ません。

例) 保有ポジション：米ドル/日本円 売 1Lot → 売ポジションの指定決済を行うまでは、米ドル/日本円について新規買いのお取引が行えません。

～取引約款・各商品取引説明書の変更点（2010年7月19日から）～

≪取引約款≫<http://www.odls.co.jp/download/yakkan.pdf>

[第5条 取引・注文 9項]

新：ODLSは契約者より受け付けた本取引の注文の売買の別が、契約者の未決済算玉と反対である場合、注文の執行を行わないものとする。

≪各商品取引説明書≫ 取引上の重要事項-⑥指定決済

[外国為替証拠金取引説明書] [http://www.odls.co.jp/download/odl\\_fx\\_instruction.pdf](http://www.odls.co.jp/download/odl_fx_instruction.pdf)

新：お客様が行う外国為替証拠金取引では契約残玉の指定決済が可能となります。指定決済をせずに、反対売買となる新規取引（両建取引）を行う事は出来ません。

以上、ご理解を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

株式会社ネクストインベストメント  
第一種金融商品取引業  
関東財務局長（金商）第1661号  
代表取締役 山田 稔  
〒150-0012  
東京都渋谷区広尾5-25-5  
広尾アネックスビル6F  
電話番号 03-5795-0707  
FAX 03-57950808